

未来へはばたけ！
新成人！



主な内容

成人おめでとう	2~4
すこいやんかトーク	5
町民ホールオープン記念イベント	10
確定申告会場について	14
子育てサロンからお知らせ	15
慢性腎臓病に注意	16



木曾岬町の人口と世帯数 1月1日現在

人口	6,402人	(前月比-18)
男	3,253人	(前月比-10)
女	3,149人	(前月比-8)
世帯数	2,428世帯	(前月比-9)

成人おめでとう ございります



成人式が、平成30年1月6日（土）、新設された木曾岬町民ホールで開催され、新成人たちが大人の自覚を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

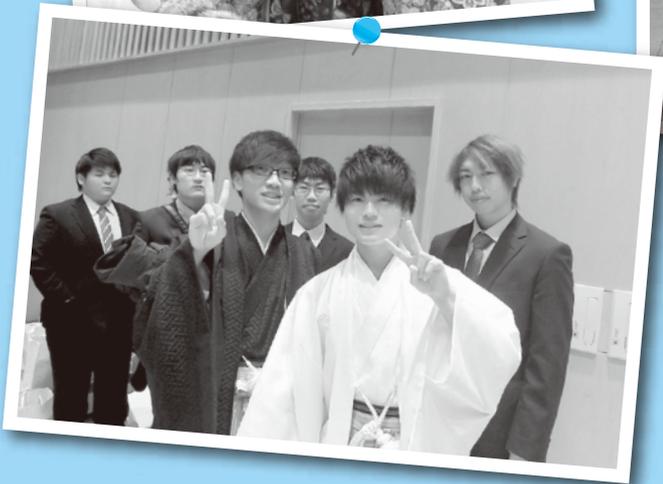
今年の新成人は、平成9年4月2日から平成10年4月1日までの間に生まれた町内在住者、および町内出身者合わせて77名が対象で、そのうち62名が出席しました。会場には色とりどりの振袖や袴、真新しいスーツ姿の新成人が集い、華やかで希望に満ち溢れた空気が流れていました。今年からはご家族の方も会場に入っていただけのようになり、新成人の晴れ姿を感慨深げに見守っていました。

式典では、加藤町長をはじめ多数の来賓の皆さまから祝辞をいただいた後、成人を迎えるにあたって濱島聡一郎さんから決

意表明がなされました。その後に行われた毎年恒例の記念アトラクションでは、小中学校の恩師から熱いメッセージをいただき、実行委員が編集した中学生時代の思い出DVDが上映されました。続いて、最後に、新たなアトラクションとして抽選会を行い、会場は大いに盛り上がっていました。

式典の最後は、松下里菜さんの謝辞で締めくくられました。式が終わった後も、会場周辺では友人や家族と記念撮影をしたり、談笑したりする姿が見られ、笑顔の絶えないひとときとなりました。

新成人の皆さま、おめでとうございます。また、成人式実行委員会の皆さまは、当日の式典等の運営お疲れさまでした。



決意表明

年が明け、春の訪れが待ち遠しくなる中、本日は関係の皆様方のご支援のもと、こうして木曾岬町で成人式を迎えられますことに、心よりお礼申し上げます。

私たちをここまで育ててくれた両親や家族、温かく見守ってくださった地域の皆様、私たちに勉学や人となりを指導してくださった恩師の方々、つらい時や悲しい時にいつもそばにいてくれた友人、そしてこの木曾岬で過ごした数々の思い出に、感謝の気持ちでいっぱいです。

この門出にあたり、ここに新たな決意を申し上げたいと思います。自分が考える大人というものは、制約のない環境のなかで思考し、行動し、それらの行動に責任を持つことのできる人間ではないのかと考えます。

なぜならば、以前の私は保育園、幼稚園、小学校、中学校と義務教育という中で生活し高校へ入学するという選択をし、歩んできましたが、それ以降は自らで就職をするのか、学問の道に進むために大学へ進学するかを選択します。

このように私たちには自由な選択肢が与えられています。今後の社会生活においても、自らのキャ



リア選択を行っていきます。しかし、常に社会は変動し私たちに選択を迫り続けていきます。このようなときに、今まで経験してきた選択やその結果を考慮し選択したいと思っています。

木曾岬町は、私たちの生まれ育った大切な町です。12月には、「新成人と語る集い」として、私たち新成人の代表と、町長・町議会議員・教育長と意見交換をする場を設けていただきました。そこで、木曾岬町について今までより深く考えることができました。町により一層愛着がわきました。私たちの故郷が木曾岬町であること、そこで素晴らしい友を得たことを誇りに、私たちはまだまだ未熟ではありますが、幅広い視野と豊かな心を身に付け社会で活躍し、貢献できる大人になることをここに決意いたします。

平成三十年一月六日
新成人代表 濱島聡一郎

謝辞

年が明け、より一層寒さが厳しくなる中、本日は町長をはじめ、関係の皆様のご支援のもと、このように盛大な成人式を開催していただき、誠にありがとうございます。新成人を代表して、心よりお礼申し上げます。

二十歳という大きな節目の歳を迎え、これまで温かく支え育ててくれた家族をはじめ、幼い頃から共に苦楽を乗り越えながら成長してきた友人、勉強だけでなく様々なことをご指導いただいた恩師の先生方や、温かく見守ってくださった地域の方々、そして木曾岬町で過ごした日々、改めて感謝しております。

二十年間を振り返りますと、あつという間であり、様々なことが思い出されます。若さ故に見えていなかったこともありました。選択の間違ひもたくさんしてきました。しかしながら、そのような間違いがあったからこそ、人は成長でき、今の自分があるのだと思います。これから先も、たくさん人の困難があり、時には逃げ出したいと思うこともあると思います。しかし私は、たとえどんなに辛いことがあったとしても、いつかは笑ってそのことを話せる日がくると

思っています。それらの思い出は私たちの支えとなってくれるでしょう。

そして、「今」この瞬間も、もう二度と来ないということも忘れてはいけません。今、この一瞬一瞬を大切にし、前を見て未来に進んでいくことが、自分を成長させてくれたすべての人への恩返しになるのではないのでしょうか。

私は、「大人」とは自分の行動や発言に責任を持てる人であると考えます。よって成人として晴れて門出を迎えた今、大人としての自覚を持ち、社会人として安易な選択や行動をとらないよう、自分の進むべき道をしつかり見極めながら、行動や発言一つ一つに責任をもって決断をしていきます。しかしながら、私たちは社会人としていまだ未熟であるため、道に迷ったときはどうか今後も皆様の温かいご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、私たちのお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

平成三十年一月六日
新成人代表 松下 里菜



新成人アンケート

今年の成人式も、新成人5名の実行委員により企画から運営まで行われました。

この実行委員の皆さんに新成人を代表して、アンケートに答えていただきましたのでご紹介します。

- Q1 今の気持ちを漢字一文字で表すと？
- Q2 大人になって思うことは？
- Q3 大人になって挑戦してみたいことはなんですか？
- Q4 「木曾岬町」といえば・・・
- Q5 もし、自分が町長になったら何を1番に行いますか？
- Q6 町長に一言！

A1 実 夢を実現し、実りがあるように。

A2 今まで親とかに頼っていた自分が少し情けなく感じるのと共に、今まで親や家族にお世話になった分、今度は自分が次の世代に様々なことを引き継げるようにしていこうと思った。また、これからの木曾岬だけでなく、この時代そのものを引っ張っていかなければならないという自覚が出てきた。

A3 農業以外にもたくさん学んで、なんでも身に付けたい。

A4 小さいころから木曾岬に住んでいて思ったことは、とにかく周りの人があたたかいということです。今は関東に住んでいるのですが、近所付き合いや町のお祭などがないので、木曾岬は本当に居心地がいい町だなと思いました。

A5 具体的な案はないが、田園回帰が狙えるような政策を行う。

A6 自分のような元々木曾岬町に住んでいる人は、よそへ行っても「木曾岬町に帰ってきたい」と思うけど、新たに木曾岬に移住してきてほしい若年層が、「木曾岬に移住したい」と思えるメリットが自分には思いつかなかったの、そう思えるような木曾岬をこれから作り上げてほしいです。



古村 隼 大 さん

A1 志 志を高く持ち、これまでよりもさらに上を目指し挑戦したいから。

A2 これまで親や先生、地域の人々など、本当に様々な人たちに守られて過ごしてきたなと改めて思いました。感謝の気持ち忘れず、一日一日を大切に過ごしたいです。

A3 これからは全てが自己責任となるので、自分の行動や発言に責任を持ち、自分のためではなく、周りの人にとって意味のある行動をしたいです。現状に満足するのではなく、さらに成長できるよう自分に厳しくありたい。

A4 お年寄りが元気！自主的に歩いている方や、自営業や農業をずっと続けている方など、とにかくお年寄りの方が元気だと思えます。

A5 町を回ったり、自主運行バスに乗ったりするなど、自らが動き、町民の生の声を聞いて、町のいい所、改善すべき所を把握します。

A6 住みやすく、活気あふれた町になるよう、これからも木曾岬町を盛り上げていってください！目指せ日本の町！！



松下 里 菜 さん

A1 整 これまでを振り返り、区切りをつけるため。

A2 以前にまして選ぶことのできる選択肢が増えました。しかし、それらの選択に対しての責任をとらないといけなくなったと思いました。

A3 今までに勉強したことがない様々な分野について学んでみたいです。

A4 一面に広がる田んぼが印象的でした。現在は大阪にいますので、緑の大切さに気付きました。

A5 教育が大切だということを知りましたので、教育に力を入れています。

A6 これからもがんばってください。



濱島 聡 郎 さん

A1 成 仕事と一人暮らしを始めて、最初はつらいことが多かったが、それに耐え考え方もいろいろと変わったので、成長したなと思い「成」という一文字にしました。

A2 大人の自覚を持ちながらも好奇心を忘れずに、何事にもチャレンジしていきたいと思っています。特に仕事は、失敗を恐れず、日々精進したいと思います。

A3 まだ何をしたいのかもわからない状況ですが、仕事の面で、やりたいことがあれば知識をつけて、いろいろな仕事してみたいです。

A4 トマトと居心地のいい田舎というところですかね。

A5 もっと住みやすい町にしたいです。交通の便を今よりも良くし、「木曾岬町と言えば！！」というもの、もしくは建物をつくり、町を栄えさせたいです。(例：トマッピーバスの本数を増やして、観光スポットをつくる。もし観光スポットがあったら利用客も増えるし、よく利用していると思われる高齢者の方は、本数が増えてより利用しやすくなると思う。)

A6 この町をよりよい町にするために、体に気を付けてほどほどにがんばってください。



知念 宏 直 さん

A1 挑 色々なことに挑戦する。友達、あそび、学校とか。

A2 10代は、まだ子供だからですんだことも、20代は、もう大人なのになってなるから日々、今まで許されたこともつうようしないと意識があるなと思います。

A3 大人でないといけないことをたくさんしたい。

A4 トマト・・・？(笑)

A5 若者の意見をたくさんきく。参考に。ですまらずに、実行にうつす。“ムダ”をなくす。

A6 若者がこの町に残りたいと思える町づくり、お願いします。今のままでは・・・。がんばって下さい。



村松 華 音 さん



みえの現場

“やっばし”すごいやんかトークが 開催されました！



1月14日（日）、木曾岬町民ホールにおいて「みえの現場“やっばし”すごいやんかトーク」が開催されました。この催しは、知事が現場に出向き、地域づくりの担い手と直接話をする事で、地域の実情や課題を共有するとともに、その地域活動がさらに広がり、持続されることを目的に開催されるものです。

今回の対象団体は「木曾岬櫻華太鼓」で、代表の西川由美さん他11名が参加しました。

総勢12名での迫力ある「櫻華の舞」演奏の後、知事の進行のもと、メンバーの8名に町長を交えて活発なトークが行われました。

「活動に参加して良かったこと」や「櫻華太鼓に入ったきっかけ」、「活動の魅力」、「これからの課題」についてメンバーそれぞれが話し、大いに盛り上がりました。

中でも、高校生の伊藤聖さんの、「活動の魅力は、自身が成長できることもあるが、音で人に何かを伝えられるのが魅力。難しい曲を、お客さんに見せることができるくらい上手に演奏できるようになったときに成長を感じる」という話は、他の参加者を感じさせていました。

町道鍋田川線の自転車誘導看板

～より安全に自転車をご利用いただくために～

自転車は原則、車道左側を通行することとなっていますが、車道部を通行することが危険と考えられる場合は歩道部の通行も認められています。

町道鍋田川線では、騒音・振動対策などを目的に、ラバーポールを設置しており、自転車が車道部を通行できるスペースが十分確保できていない状況です（写真参考）。

そこで、ラバーポールを設置した区間では、より安全に自転車をご利用いただくため、その始まりに「歩道側への矢印」を、終点部に「車道側への矢印」を標示した自転車誘導看板を設置したのでお知らせします。

なお、あくまでも歩道部は「歩行者優先」です。自転車で歩道部を通行される場合は、歩行者に十分、注意してください。

歩道部へ誘導



車道部へ誘導



平成30年消防出初式

1月7日(日)小学校校庭において、平成30年の新春を飾る恒例の消防出初式が多数の来賓を迎え、盛大に挙行されました。

当日は、団員および消防車9台の分列行進や表彰状授与などを行いました。

町長の訓示後には、県知事代理並びに三谷県議会議員から祝辞を賜り、黒宮消防団長は答辞にて「我々消防団の任務を全うし、町民の生命財産を災害から守り、町民の信望と期待に応えたい」と新たな一年への意欲を力強く述べられました。

式を締めくくる一斉放水では、長島木曾岬分署のハシゴ車と町消防団のポンプ5台から空高く放水

して、鮮やかな5色の水しぶきが消防活動の1年の始まりを告げました。

なお、表彰されました分団および団員の皆様を次のとおり紹介させていただきます。(敬称略)



(敬称略)

消防団員募集

町では町内在住または勤務している方で20歳以上の方を対象に、消防団員を募集しています。

消防団に入ってみたい!という方、少し興味がある!という方は、お気軽に下記担当者まで問合せください。また、貴地区内や知り合い等に消防団に加入していただければ、そなたがお見えになりましたら、是非お声掛けください。

消防団員の加入促進にご協力いただけますよう、願います。

近年全国の消防団員数は減少の一途をたどっています。消防団に入らない理由は「職業と両立出来ない」や「家族との時間を減らしたくない・家族に反対される」というものが多くを占めていました。消防団員は、

「自らの地域は自らが守る」

を信念に、家族や地域への強い思いが活動の原動力になっています。それだけに、家族や地域の方々・企業や事業所に「消防団」と言うものを理解していただく事が非常に重要です。

●消防団の主な活動

- ・ 火災時及び災害時の消火活動
- ・ 火災・災害に備えての各種訓練
- ・ 火災予防啓発活動(年末夜警)
- ・ 消防出初式

○消防団は火災や災害など、有事の際に地域を守るため結成されています。

○年間を通して月1回程度訓練しておりますが、訓練といっても筋力トレーニング等ではなく、消火機器の取扱いなどを学んでいます。

○年齢構成は20代から40代と幅広くなっています。

○団員同士で仲良くなるため、活動外でも様々な交流を行っています。

●問合せ先

役場 危機管理課
☎ 68-6101



“林家花丸さん人権講演会” 盛況に終わりました

昨年12月10日(日)午後1時から「ふれあいホール」において、人権ポスター優秀作品の表彰、人権作文優秀作品の発表及び表彰と、“林家花丸”さんを講師に招き講演会を開催いたしました。当日は町内外よりたくさんの方々にお集まりいただき、開催することができました。

人権ポスターは、幼保・小・中学生の皆さんから156点の応募をいただき、審査の結果、選定されました優秀作品8点の表彰を行いました。(優秀作品は役場1階で展示)

人権作文の発表では、木曾岬中学校2年の伊藤 香湖さんと宮崎 詩乃さんに作品の朗読をいただき、その後、表彰状と記念品が授与されました。

引き続き開催された“林家花丸”さんの落語では、今話題の「時うどん」をご披露していただきました。ご披露後には、うどんを食べる仕草を教えていただき、会場は温かい笑いある雰囲気になりました。

講演会では「差別ー壊れた心のメガネ」をテーマに講演を行っていただき、日常でよくあるエピソードを交えながら、人権について楽しく聞かせていただきました。来場者アンケートでも「他の人権講演会とは違った独特な視点で、大変おもしろかった」「楽に人権について話していただき、良かった」「大変、心がなごみました」…など多くの方々からの声をいただきました。

講演頂いた
林家花丸さん→



人権ポスター表彰者 (左から)

入 選	中学校3年	大平奈津美さん
	〃 2年	鬼頭萌々菜さん
	〃 1年	山田 陽菜さん
小学校5年	武石 華帆さん	
〃 5年	納所 倅さん	
〃 5年	富田 匡希さん	
中部幼保	諸戸 美羽さん	
南部幼保	鈴木 蓮希さん	



人権作文表彰者 (左から)

中学校2年	伊藤 香湖さん
〃 2年	宮崎 詩乃さん

「伸びゆく木曾岬町の ふれあい広場2018」

開催日変更のお知らせ

毎年、春分の日で開催しています「伸びゆく木曾岬町のふれあい広場」の今年度の開催日は、諸事情により平成30年**3月18日(日)**の開催となります。

3月に配付しました行事・健康カレンダーでは3月21日(水・祝)の開催となっていますが、**3月18日(日)**となりますのでご注意ください。



木曾岬町のラジオ番組

「きそさきステーション」

木曾岬町民みんなが主役。木曾岬町に係る「ひと・もの・こと」や木曾岬町にまつわる内容の投稿を募集して木曾岬町の魅力を町内外へ発信しています。

FM-CTY 76.8MHZにて絶賛放送中

- 第1・第3水曜日/午後10時～午後10時29分
- 第1・第3金曜日/午前11時～午前11時29分

※スマートフォンやタブレットをお持ちの方はCTY-FM公式アプリをダウンロードすると番組をお楽しみいただけます。

生活のミニ情報

桑名市消防本部からの お知らせです

春季火災予防運動について

3月1日から7日まで全国一斉に春季火災予防運動が実施されます。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節を迎えますので、火の元・火の取り扱いは十分注意しましょう。

●2017年度全国統一防火標語

「火の用心
ことはを形に 習慣に」

防火ポスター展の開催について

左記日程において、「防火ポスター展」を開催します。

展示するポスターは管内の小・中学生の平成29年度入選作品86点となりますので、ぜひご覧ください。

●と き

1月31日(水)～2月12日(月)

●場 所

イオンモール桑名
(桑名市新西方1丁目2)

●と き

2月14日(水)～2月26日(月)

●場 所

イオンモール東員
(員弁郡東員町大字長深 510-1)

住宅用火災警報器の取付け のお手伝いをします

住宅用火災警報器を設置または交換したいけど、天井等に取付けることが困難な65歳以上の高齢者や障害者世帯のうち、取付けを希望する世帯を対象に消防職員が皆さんのお宅に訪問して、取付けのお手伝いをします。

《準備物》

・電池式の住宅用火災警報器
(購入などしてあらかじめ準備をお願いします。)

問 桑名市消防本部 予防課

☎0594-244-5279

応急手当普及員講習会

●開催日時

3月11日(日)・12日(月)・13日(火)の3日間
午前9時～午後5時30分ごろ
※3日間とも受講が必要

●開催場所

桑名市大字江場7番地
桑名市消防本部 2階研修室

●申込方法

「応急手当普及員講習申込書」に必要事項を記入の上、桑名市役所 防災・危機管理課まで、ファックス・郵送・持参(執務時間内：平日午前8時30分～午後5時)のいずれかで申し込みください

☎0594-244-5297
(お問い合わせ先)

FAX 0594-244-2945

E-MAIL bosaim@city.kuwana.lg.jp

〒511-8601 桑名市中央町 2丁目37番地

※「応急手当普及員講習申込書」については、桑名市ホームページにアップロードしておりますので、ダウンロードしてください。

「桑名市HPTトップ画面」→「消防本部・消防署」→「講習会」→「救命講習のご案内」→「応急手当普及員講習」

●受付期間
2月5日(日)～3月6日(火)まで。

●定 員 30人
(先着順にて定員になり次第締め切り)

●受講料 無料
●対象者 事業所・各種団体等で、A E

Dを含めた心肺蘇生法や応急手当の指導、普及啓発を行っていただけの方

●講習内容

心肺蘇生法を中心とした応急手当の方法と指導要領

●認定証

所定の講習時間を修了し、一定のレベルに達した方に「応急手当普及員認定証」(3年間有効)を交付

●受講上の注意事項

(1) 受講当日は、筆記用具を持参してください。

(2) 動きやすい服装、靴でお越しください。

(3) 講習時間に遅刻、早退した場合は、講習修了が認められません。

(4) 食事は各自でご用意ください。なお、ごみは各自でお持ち帰りいただきますようお願いいたします。

(5) 車は、講習が終了するまで原則車の出し入れはできません。

(6) 来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

●開催日時
3月14日(水)
午前9時～正午までの3時間

応急手当普及員再講習会 開催のお知らせ

●開催場所

桑名市消防本部 研修室(2階)
桑名市大字江場7番地

●申込方法

「応急手当普及員再講習申込書」に必要事項を記入の上、桑名市役所 防災・危機管理課まで、ファックス・メール・郵送・持参(執務時間内：平日午前8時30分～午後5時)のいずれかで申し込みください。

☎0594-244-5297
(お問い合わせ先)

FAX 0594-244-2945

E-MAIL bosaim@city.kuwana.lg.jp

〒511-8601 桑名市中央町 2丁目37番地

※「応急手当普及員再講習申込書」については、桑名市ホームページにアップロードしておりますので、ダウンロードしてください。

「桑名市HPTトップ画面」→「消防本部・消防署」→「講習会」→「救命講習のご案内」→「応急手当普及員講習」

●受付期間
2月5日(日)～3月8日(木)まで

●定 員 30人
(先着順にて定員になり次第締め切り)

●受講料は必要ありません。

●受講上の留意事項

- (1) 応急手当普及員認定証を必ず持参してください。
- (2) 筆記用具を持参してください。
- (3) 動きやすい服装、靴でお越しください。
- (4) 講習開始時間に遅刻又は途中での退席及び早退した場合、講習修了とは認められません。(認定証は交付されません)
- (5) 駐車台数に限りがあります。可能な方は、公共交通機関、乗り合わせ等でのご来場にご協力をお願いします。

※受講日から3年が過ぎますと、応急手当普及員としての認定が喪失します。

2月及び3月自衛官候補生採用試験の実施並びに平成30年度予備自衛官補の募集について

【自衛官候補生(男・女)】

- 採用試験日
 - (1) 2月採用試験 2月18日(日)
 - (2) 3月採用試験 3月11日(日)
- 受付期間 随時受付
- 受験資格
 - 18歳以上27歳未満の健康な男女
- 試験会場 受付時に案内

【予備自衛官補】

- (一般公募・技能公募)
- 受付期間

1月9日～4月6日

●受験資格

- (1) 一般公募
 - ア 18歳以上34歳未満の者
 - イ 自衛官であった期間が1年以内の者
- (2) 技能公募
 - ア 18歳以上で国家免許資格等を有する者
 - イ 自衛官であった期間が1年以内の者

※詳しくは左記までお問い合わせください。

●採用試験日

4月15日(日)～4月18日(水)のいずれか一日が指定されます。

●試験会場

- (1) 一般：陸上自衛隊久居駐屯地 (三重県) 予定
- (2) 技能：陸上自衛隊守山駐屯地 (愛知県) 予定

問 自衛隊四日市地域事務所

☎059-351-1723
自衛官募集コールセンター
フリーダイヤル
0120-063-792

おうちに未登録の象牙ありませんか？

環境省では、国内にある象牙の在庫を把握しようとしています。

所持しているだけであれば違法ではありませんが、登録されていない象牙を売ったりあげたりするのは違法です。未登録の象牙をお持ちの方、まずは左記までご連絡を！(※全形を保持した象牙のみが登録対象。印鑑やアクセサリなど象牙製品は登録対象外。)

なお、所有者死亡による近親者への相続は違法になりません。ただし、その後販売等をする場合にはあらかじめ登録が必要です。

また、象牙以外の国際希少野生動植物種の登録も受け付けています。

●連絡先

象牙在庫把握キャンペーン事務局
☎03-6659-4660
(土日祝日を除く午前10時～午後5時)

歴史散策 商家の町並みとおひなさん

～阿下喜を歩く～

- 日時
 - 3月4日(日)午前9時～正午
- 集合
 - 三岐鉄道北勢線 阿下喜駅前
- 受付時間
 - 午前8時30分～9時
- 内容

商家の町並み阿下喜の史跡や寺社を、「ふるさといなべ市の語り部」さんと散策します。終了後に、「おひなさん」の展示もお楽しみいただけます。

●定員 80名

(応募者多数の場合は抽選)

●参加費 無料

●申込

往復はがきで参加者(最大4人)の郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入してお申し込みください。(返信用に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記してください)

●申込締切 2月19日(日)必着

問 三重県桑名地域防災総合事務所 歴史散策係
☎511-8567 桑名市中央町5-1-1
☎0594-243821

古い工場やビルをお持ちの皆様へ！まずは確認を！PCB廃棄物の処理期限が迫っています

ビルや工場などの蛍光灯や水銀灯等の照明器具の安定器、電源設備等の変圧器やコンデンサーには、ポリ塩化ビフェニル(PCB)が使用されている可能性があります。

があります。

PCBを含む電気機器等については、早いものでは平成33年3月末日までが処分期間となります。この処分期間を過ぎると事実上処分することができなくなることから、PCBを含む電気機器等が使用または保管されていないか確認いただきますようお願いいたします。

PCBを含む電気機器等の確認方法、処分期間、保管および処分に向けた手続きなどについては、環境省ホームページの「PCB早期処理情報サイト」をご覧ください。

なお、確認作業については、電気設備を管理している電気主任技術者または管理会社・団体に必ず相談ください。接触等により感電する恐れがあり非常に危険ですので、使用中の電気設備には、近づかないでください。また、PCBを含む電気機器等が見つかった場合は、県等への届出が必要となります。

(環境省 PCB 早期処理)で検索

【PCBに関する全国相談窓口】

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団
☎0120-985-007
受付時間 平日の午前10時～午後5時
受付は3月30日まで

木曾岬町民ホールオープン記念イベント

創部60年余り、全日本吹奏楽部コンクール全国大会金賞16回の
日本一の実績を持つ名門校

愛工大名電高校吹奏楽部演奏会開催!!

3月31日(土)

開 場 / 午後1時30分

開 演 / 午後2時00分

会 場 / 木曾岬町民ホール

【入場整理券の事前配布について】

- 配布期間 / 2月7日(水)～19日(月)
- 配布場所 / 教育委員会事務局 (平日: 午前8時30分～午後5時00分)
町立図書館 (土日: 午前9時00分～午後5時00分)

※整理券は先着順といたします。満席になり次第締め切らせていただきます。

※3歳未満のお子様は 保護者の方のおひざの上でのご鑑賞となりますのでご了承ください。

※ひと家族5枚までとさせていただきます。



第11回美し国三重市町対抗駅伝木曾岬町実行委員会へ JA三重北よりスポーツドリンクの贈呈がなされました!

今月2月18日(日)に開催される第11回美し国三重市町対抗駅伝出場に伴い、昨年12月14日(木)に役場町長室で、JA三重北の堀田良平常務理事より美し国三重市町対抗駅伝木曾岬町実行委員長のか藤和巳さんにスポーツドリンクと冠茶が激励品として贈呈されました。

か藤委員長からは、「今年は選手が全員木曾岬町の方で集まっていただけだ。前年よりも上位をねらいながら、選手全員が完走できるようしっかりサポートしていきたい」と力強く決意が表明されました。



～がんばれ! チーム木曾岬 第11回美し国三重市町対抗駅伝～

三重県内全29市町が出場する“美し国三重市町対抗駅伝”が今年も2月18日(日)に開催されます。今年のチームキャッチフレーズは“ベストをつくし、笑顔でつなぐタスキ”。県庁前(津市)をスタートし、県営総合競技場陸上競技場(伊勢市)までの10区間42.195kmを木曾岬町の代表チームが激走します。大会当日は三重テレビで放送予定ですので、町民のみなさんも応援しましょう!



※掲載順については、順不同

※第3・7区については、木曾岬町では中学生女子がエントリーしているため入替る場合有り

第1区

小学生女子
(1.28km)



高橋 愛舞

自分のベストをつくせるようにがんばります!



加藤 愛梨

精一杯頑張ります!

第2区

小学生男子
(1.85km)



水谷 薫

6年生を2人追い抜く!



黒宮 和真

自己ベストを出せるようにがんばる!

第3区

中学生女子
(3.83km)



山田 茉穂

自己ベストが更新出来るように頑張ります!



堤 水希

手をぬくことなく、精一杯楽しんで走ります!

第4区

中学生男子
(5.58km)



花井 優士

良い成績を取るため、がんばります!



今泉 太一

次の人にタスキを繋げられるよう全力で頑張りたい!

第5区

40歳以上
男子
(4.60km)



伊藤 勇

昨年のタイムを1秒でも縮めたいです!



高村 真貴

チーム全員、力を合わせて頑張ります!

第6区

ジュニア
男子
(6.36km)



三倉 秀斗

練習以上の力を出せるように頑張ります!

第7区

一般女子
(2.89km)



宮崎 瑠那

今年は大大会に出場できるように頑張ります!

第8区

20歳以上
女子
(3.43km)



平野 沢子

娘と共に頑張る!



伊藤 知世

アラサー、頑張ります!

第9区

ジュニア
女子
(5.45km)



平野 杏

頑張ります!

第10区

20歳以上
男子
(6.425km)



奈良 賢治

コーチ兼選手として、木曾岬町に貢献できるよう全力で頑張ります!



野中 崇仁

頑張ります!

シリーズ 地域とともに子どもの育ちを創造する ～CSの可能性を求めて⑪～

木曾岬町では平成28年4月にコミュニティ・スクール(CS)を導入し、学校(園)目標やビジョンを地域の方や保護者と共有を図り、協働して子どもを育てていく「地域とともにある学校(園)づくり」を進めています。2月号では、小学校の「地域とともにある学校づくり」の取組についてご紹介します。

5年生米作り体験

～地域の方から学び、地域の特色を生かした体験活動による学習の深化をめざして～

5年生では、社会科と総合的な学習の授業で、米作りについて学習・体験をします。その活動を支えるゲストティーチャーとして、長年、服部法雄さんに年間を通して指導助言をしていただいています。

5月8日には、最初の活動である「もみまき」を行いました。土の上にまんべんなくもみをまく時には、子どもたちは「難しい!」「もっと端にまけるよ」などと言いながら作業を進めていました。

5月29日に、服部さんはじめ3人の方々に指導していただきながら、トマトープにある田んぼに一人5株ずつ苗を植えていきました。ぬかるんだ土に足をとられながらも、教わったとおりに植えることができました。

～稲刈り～

10月4日に稲刈りをしました。5月の田植え後、稲は夏の間にごんごん成長しました。自分たちが植えた稲の成長に、子どもたちは大興奮でした。稲刈りも服部さんにお世話になりながら、鎌を使って上手に収穫することができました。刈った稲は、ばらばらにならないように麻ひもでくくり、鉄棒に干しました。給食のときには、「このご飯は新米かなあ。」「家で食べているお米も気になる!」と収穫したお米だけでなく、普段家や学校で食べているお米にも関心を向けていました。

～脱穀～

11月6日に、足踏み脱穀機を使い脱穀を行いました。足踏みペダルを動かす子どもと回転した部分に稲穂をあて脱穀する子どもの2人ペアで作業を行いました。ペダルをタイミングよく踏まないと上手く回せず戸惑っていた子どもたちでしたが、慣れてくると「まだここにお米がついてる」「もっと回転上げて」などと声を掛け合いながら、楽しそうに作業をしていました。散らばったもみを袋に詰める時には、一粒も見逃さないよう慎重に拾っていました。子どもたちは、お米の形が現れたことに感動し、「早く食べたい」と口々につぶやいていました。2月には収穫したお米を食べる予定です。



鎌を使った手本を見せてもらっています



一人5株刈り取っています



鉄棒に干しました

木曾岬町にはたくさんの水田があり、米作りを専業でしている農家の方もみえます。田んぼは、5月のきらめく水面や6月の風になびく水稻、9月の黄金色の稲穂など季節ごとに彩りを変え、私たちの目を楽しませてくれています。しかし、農家の方は、自然との折り合いをつけながら毎日田んぼの世話をし、米作りをしています。5年生の子どもたちは、米作りの一端ではありますが、米作りの大変さとおもしろさを経験することができました。

今後も地域の皆さんの力をお借りして、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

▼第27回全日本空手道連盟 剛柔会中部地区空手道選手権大会が開催されました

昨年11月19日(日)愛知県愛西市に於いて“第27回全日本空手道連盟剛柔会中部地区空手道選手権大会”が開催されました。

当町からは拳悠館所属の選手が各競技に総勢21名参加し、優勝や準優勝等含め多くの選手が上位に入賞する結果となりました。

【結果】優勝2名、準優勝5名、三位3名、敢闘賞15名



平成29年「交通安全ポスターコンクール」入選おめでとう!



昨年の11月24日のJA共済みえ小・中学校交通安全ポスターコンクールにおいて、木曾岬小学校6年森 結衣さんが、JA共済連三重本部長賞(銅賞)に選ばれました。森さんは、「最近、“ながらスマホ”が社会問題になっているので、その危険性を訴えました。少しでも減ってくれることを願っています。」とポスターに込めた思いを語ってくれました。

入選おめでとうございます。

なお、森さんの作品は、平成30年版「交通安全ポスターカレンダー」に掲載されます。

わんぱくキッズスキー・スノーボードスクール開催!

1月5日(金)から7日(日)の3日間、ほおのき平スキー場(岐阜県高山市)を会場に“わんぱくキッズスキー・スノーボードスクール”を開催しました。

この事業は『「できた!」が自信につながる』『自然の中でコミュニケーション能力を育む』『自立心と社会性を身に付ける』の3つをテーマに桑名郡市の小学生を対象に木曾岬町体育協会が桑名市の総合型クラブと共同で共催したものです。

今回は63名(内、木曾岬からは4名)の参加者があり、3日間の活動を通じて、スキー・スノーボード技術の習得はもちろんのこと、他市町の同世代や学年の違う子と

たくさん友達になったり触れ合ったりする良い機会となりました。また、キャンプカウンセラーのお兄さん・お姉さんに助けてもらいながらも、自分のことは自分ですするという良い経験にもなりました。



教育関連施設開館日のお知らせ

町 体育館 体育館シューズを持参の上、お越しください。

◎ 一般開放日

卓球、バドミントンなど、道具の貸し出しを行っています。
自由に使用できます。

11日(日) 午前9時～午後4時 25日(日) 午前9時～正午

◎ 軽スポーツ教室

スポーツ推進委員による軽スポーツ教室を行ないます。
インディアカやファミリーバドミントンなどを実施しています
のでぜひ体育館へお越しください。

25日(日) 午後1時～午後4時

文化資料館

◎ 開館日

毎週日曜日
午前9時～午後4時



北部公民館

◎ 開館日

火～日（祝日を除く）
午前8時30分～午後5時

町 図書館（1月7日より）

◎ 開館日

火～日	午前10時～午後6時
火～木	正午～午後8時
金	午前9時～午後5時
土・日・祝	

税インフォメーション

確定申告会場について

桑名税務署の平成29年分確定申告会場は、桑名市役所5階大会議室です。

● 開設期間 / 2月16日(金)～3月15日(木)（土曜、日曜を除く。）

※開設期間前の税務署内での申告相談は、大変混雑し長時間お待ちいただくこととなります。申告相談の方は、上記の開設期間中に確定申告会場にお越しください。

● 開設時間 / 午前9時～午後5時（受付時間：午後4時まで）

※確定申告会場の混雑の状況により、受付を早めに終了する場合があります。

● その他 / ① 開設期間中は、税務署では申告書の作成指導は行っておりません。

② 確定申告会場では納税窓口を設けておりませんので、納税をされる方は振替納税をご利用いただくか、銀行・信用金庫または郵便局の窓口での納付をお願いします。

③ 申告書にはマイナンバー（個人番号）を記載する欄を設けており、申告者ご本人や控除対象配偶者、扶養親族および事業専従者などのマイナンバーの記載が必要です。

④ マイナンバーを記載した申告書を提出する際には、申告者ご本人の本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。

⑤ 駐車場の混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

⑥ 既に作成された確定申告書を郵送により提出される場合には、桑名税務署宛に送付してください。

〈問合せ先〉

桑名税務署(〒511-8510 桑名市江場7番地6) ☎0594 (22) 5121

※税務署の電話番号にお掛けいただくと、自動音声によりご案内します。

ご用件に応じて次の番号を選択してください。

● 所得税及び復興特別所得税、消費税及び地方消費税の確定申告、贈与税の申告に関するご相談の場合

⇒「0」確定申告電話相談センター（平成30年3月15日まで）

● 国税に関する一般的なご相談の場合

⇒「1」電話相談センター（税務相談室職員がお答えします。）

● 税務署からの照会やお尋ねまたは職員にご用の場合

⇒「2」税務署

● 消費税の軽減税率制度に関するご相談

⇒「3」消費税の軽減税率制度に関する専用窓口

子育てサロンより



起きる



遊ぶ



夕食・入浴



寝る



保護者の方とお話をしていると、「子どもが寝るのが遅くて困っています。」というお話をよく耳にします。また、「今度入園するんだけど、起きるのが遅いんです・・・。」というお話も。集団生活をするにあたって大切になってくるのが早寝・早起きの習慣です。

寝かしつけだけ頑張っても子どもはなかなか寝てくれません。生活リズム全体に時間をかけて整えて自然に早寝・早起きができるようにしていけたらいいですね。

休日も含め、毎日決まった時間に起こすようにします。休日寝るのが遅かったからといって、いつまでも寝かせておかないこと。これが生活リズムを整えるコツです。

カーテンなどを開けて太陽の光を浴びることも大切。体が活動モードになります。

ぐっすり眠るためにも、しっかりたべるためにも大切なのが体を動かして遊ぶこと。できれば、1日1回は外に出て、思いきり遊ばせたいものです。

早い時間に寝かせるためには、夕食や入浴の時間を早める必要があります。また、寝る直前にお風呂に入ったりすると、寝つきが悪くなりがちです。食事は寝る2時間前までに、入浴も寝る1～2時間前までに済ませましょう。

3歳を過ぎると、添い寝を卒業して一人で寝る頃ですが、不安そうなら寝入るまでそばにいて、安心させてあげましょう。

毎日寝る前にしている『入眠儀式』はありますか？ 毎晩繰り返すことで、子どもは眠りにつきやすくなります。

入眠儀式いろいろ

いろいろ試して、子どもに合うものを探してみましょう。

- パジャマに着替える
- 歯をみがく
- トイレに行く
- 「おやすみ」を言う
- テレビを消す
- 部屋を薄暗くする
- 音楽をかける
- 子守唄を歌う
- 絵本を読む
- 短いお話をする
- 胸や背中をトントンする



『寝る子は育つ』は本当です

睡眠には、日中の疲れをとるだけでなく、体を丈夫にする、成長を促す、免疫力をつける、集中力や記憶力を高めるなどさまざまな役割があり、子どもにとって非常に大切なものです。

睡眠不足はイライラ・落ち着きがない・キレやすいなどの形で現れることもあり、学童期には学力の低下にもつながるといわれます。夜ぐっすり眠れるよう、早いうちから生活リズムを整えてあげたいものです。



子育てサロン

- 利用できる日／月曜日の午前・午後、火曜日～金曜日の午前
- 2月の子育てサロンのお休み
2月9日(金)、16日(金)、19日(月)の午後、土・日曜日および祝日

今月は **慢性腎臓病 (CKD) の発症予防・早期発見・重症化予防** についてお知らせいたします。

CKDとは、腎障害や腎機能の低下が続く状態のことです。手や足などに不調があれば痛み等で気づきますが、腎臓の場合、初期段階での自覚症状はなく、一度、腎機能が低下すると元には戻りません・・・

CKDは、透析の大きな危険因子であるだけでなく、心血管疾患の危険も増加し、生活習慣病と深く関わりがあり、予防と早期発見が大切です。

成人の8人に1人が慢性腎臓病!!

【あてはまる方は要注意!!】

- 体のだるさ・息切れ・肥満・むくみ
- 喫煙・尿たんぱくの異常
- 尿の色が白っぽい、赤く濁る
- 血糖値や血圧が高め
- 家族に腎臓病の方がいる

ヘルシークッキングのお知らせ

高血圧予防の食事

～減塩でもおいしい食事のコツについて～

- 日 時 / 2月23日(金)
午前10時～午後1時
- 場 所 / 保健センター調理室
- 対 象 者 / 木曾岬町にお住まいの方
- 定 員 / 12名
(6名以上で実施いたします)
- 実施内容 / ミニ講話と調理実習
- 持 ち 物 / エプロン・三角巾・布巾・米0.5合
- 参 加 費 / 1人300円(材料費)
- 申込方法 / 8日前までに保健センター(☎68-6119)管理栄養士までお電話もしくは保健センター窓口でお申し込みください。(定員になり次第締め切ります)

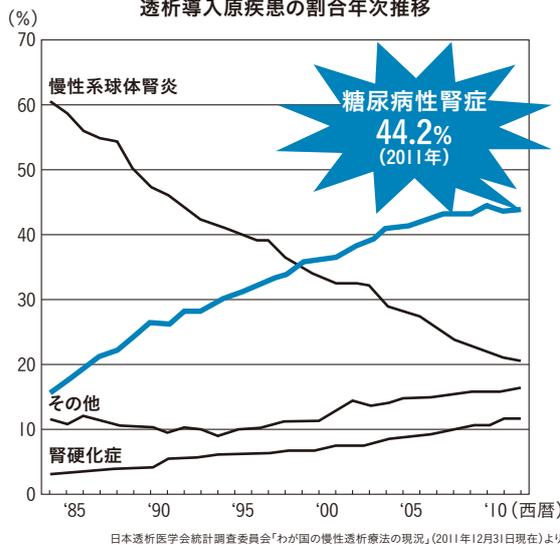
※都合により、実施日・内容を変更する場合がありますので、ご了承ください。

糖 尿 病

糖尿病では、腎症の発症や進行に要注意!

現在、透析導入の原因となる疾患のうち、「糖尿病性腎症」の割合が年々増加し、大きな問題となっています。

透析導入原疾患の割合年次推移



糖尿病性腎症は、糖尿病になって10数年経って発症することが多く、同時に糖尿病性網膜症の合併も多くみられます。

腎臓病の方は、適切な食事や運動がそれぞれ異なりますので、医師等とよく相談しましょう。

2月カレンダー

主な行事	場所	時間	備考
1 ㊦ ・大人カウンセリング ・集団フッ素塗布 ・1歳半健診・3歳児健診	保健センター 保健センター 保健センター	午前10時～11時 午後1時30分～2時30分 午後1時15分～2時30分	要予約 ☎68-6119
4 ㊦ ・木曾岬輪中駅伝大会	町内		
6 ㊦ ・もぐもぐ教室	保健センター	午前10時～11時30分ごろ	
8 ㊦ ・すくすくひろば ・カウンセリング	保健センター 保健センター	午前10時～11時30分	要予約 ☎68-6119
9 ㊦ ・幼稚園保育園入園説明会	中部幼稚園保育園 遊戯室	午後2時30分～	
13 ㊦ ・のびのび指導室 ・母乳相談	保健センター 保健センター	午前9時30分～10時30分 午前10時～11時	
15 ㊦ ・北勢地域若者サポートステーション 出張相談in木曾岬	福祉・教育センター	午前9時30分～11時30分	要予約 ☎059-359-7280
16 ㊦ ・発達相談	保健センター	午前9時30分～午後3時	要予約 ☎68-6119
19 ㊦ ・音楽療法（子育てサロン）	福祉・教育センター集会室	午前10時30分～11時30分	
22 ㊦ ・カウンセリング	保健センター		要予約 ☎68-6119
23 ㊦ ・法律相談・人権相談 ・育児相談	福祉・教育センター 保健センター	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～3時	
25 ㊦ ・日曜役場	役場 住民課・税務課	午前8時30分～午後5時	収納・証明業務
28 ㊦ ・ブックスタート	図書館	午後2時30分～3時30分	

2月の納付

納付をお忘れなく!

- 固定資産税(2/28納期限) …………… 第4期分
 - 国民健康保険料(2/28納期限) …………… 第8期分
 - 後期高齢者医療保険料(2/28納期限) 第8期分
 - 水道料金・下水道使用料(2/28納期限) A地区
 - 幼稚園授業料(2/27納期限) …………… 2月分
 - 保育園保育料(2/27納期限) …………… 2月分
- 口座振替の方は振替不能とならないよう通帳の残高をお確かめください。

中部国際空港よりお知らせ

航空機騒音については
航空機騒音・テレビ電波障害相談室をご利用ください。

- 電話/0569-38-7860(直通)(午前9時～午後6時)
 - FAX/0569-38-7859
- ※時間外は留守番電話にて対応します。

夜間・休日電話	40-9008
平日夜間 午後5:15～翌日 午前8:30/土・日・祝日・年末年始	
総務政策課	68-6100
建設課	68-6106
危機管理課	68-6101
会計課	68-6107
税務課	68-6102
議会事務局	68-6108
住民課	68-6103
教育委員会	68-1617
福祉健康課	68-6104
保健センター	68-6119
産業課	68-6105
町立図書館	40-9010



● 町のホームページ
<http://www.town.kisosaki.lg.jp/>

家庭ごみ、資源ごみ収集日程

※収集日程については行事・健康カレンダーをご確認ください。

	A 地区	B 地区
対象地区	新加路戸・上加路戸・中加路戸・大新田・外平喜・近江島・西対海地・田代・脇付・雁ヶ地・福崎・上見入・東見入・下見入・辰高・上和泉・下和泉・中和泉・小和泉・小林・栄・中栄・第2栄	富田子・新富田子・東富田子・豊崎・川先・藤里台・西白鷺川・白鷺・源緑・下藤里・上藤里・松永・南栄・かおるヶ丘・なぎざ台
可燃ごみ	毎週月・木曜日 1日・5日・8日・12日・15日 19日・22日・26日	毎週火・金曜日 2日・6日・9日・13日・16日 20日・23日・27日
不燃ごみ	毎月第1・第3水曜日 7日・21日	
プラスチック製容器包装	毎週水曜日 7日・14日・21日・28日	
粗大ごみ	毎月第2水曜日 14日	毎月第4水曜日 28日
資源ごみ	毎月第4日曜日 25日	

家庭ごみ収集におけるお願い

- ※ごみ減量にご協力をお願いします。(資源ごみ、廃品回収をご利用ください。)
- ※生ごみなど水分の多いものは、水切りを十分に行ってください。
- ※プラスチック製容器包装は分別して専用のごみ袋に入れてください。

花井瑛絵さん (源緑輪中)ワールドカップ 団体優勝!!



(1回戦でスウェーデン選手と対戦する花井瑛絵さん)

昨年12月1日(金)～2日(土)にロシア・チェボクサリで開催された「女子レスリングワールドカップ」の国別団体戦で日本代表のメンバーとして、花井瑛絵さん(至学館高3年)が日本の団体優勝に大きく貢献しました。

大会を終えて花井瑛絵さんから「驚きと日本代表としてのプレッシャーとの中で大会に臨み、個人としての成績は3勝1敗でしたが、先輩が多いチームの中で役割を果たし、日本の優勝に貢献できて嬉しいです!」と喜びのコメントをいただきました。

今後の更なる活躍が期待されます。